

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 455

政策体系	23	事業分類	ソフト事業	所管部局	農林商工部 農林整備課
会計	一般会計	科目	6. 農林水 - 2. 林業費 - 2. 林業振 現年		
事業名	野生鳥獣被害総合対策事業				
細事業名	有害鳥獣防除施設設置事業				
				評価表作成者	農林商工部 農林整備課 谷 裕之

## 1. 事業の概要

農家組合等が事業主体となり実施する、有害鳥獣防除施設（電気柵・金網フェンス等）の設置に係る資材費の一部を助成する

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

有害鳥獣による外部からの侵入を防ぐため、金網フェンス等の防除施設を設置するものである

### ②事業を実施する必要性

被害の蔓延を防止するための自己防衛策として、必要不可欠である

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	12,345	15,247	9,262	6,140	2,800		
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0		
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0		
	国・府支出金	千円	10,220	10,897	6,622	4,554	2,000	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,125	4,350	2,640	1,586	800	
職員等の従事人員	人/年	—	0.65		0.15			
人件費	千円	—	3,450		737			
事業費総額	千円	—	18,697		6,877			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

金網フェンス・電機柵等の防除施設設置（地元関係者が事業主体） 6,140,000円（補助金）

## 5. 事業結果の概要

金網フェンス・電機柵等の防除施設設置（地元関係者が事業主体）  
 21事業体 15,324m

## 6. 活動の詳細

(1) 補助金の交付		
有害鳥獣による外部からの侵入を防ぐため、金網フェンス等の防除施設を設置する。(事業主体：農家組合等 21事業体 15,324m	平成22年4月～ 平成23年3月	被害の蔓延を防止するための事故防衛策として有効な手段である。

## 7. 所属長評価 [平成20年度から改善した点、今後の展開など]

自己防衛対策としての防除施設の設置は大変有効な手段であり、継続して事業実施する必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

自己防衛対策としての防除施設の設置は大変有効な手段であり継続して事業実施する必要がある。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
間接的な防除対策の必要性。
- ②当該事業のアピール事項  
直接的な捕獲対策と並行して、間接的な防除対策の必要性。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
自己防衛対策としての防除施設の設置は大変有効な手段であり、引き続き事業を実施する必要がある。